



ベンリー RLモルタル

速硬軽量モルタル
(ポリマーセメントモルタル)

荷 姿

15kg粉体
混和液1.5kg



主材(紙袋)と専用混和液(ポリ缶)が別梱包になります

適 用 塗 厚

10~30mm

標準施工面積

1.1m²/セット
(10mm)

【ベンリー-RLモルタル(本社)】

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1004017
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

【ベンリー-RLモルタル混和液】

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1004019
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用

特 長

コンクリート、モルタルの欠損部補修用のポリマーセメントモルタルです

軽量モルタルで速硬性を有する為、作業性が良く工期短縮に貢献します

混練は専用混和材と水道水だけでよく調合ミスがありません

製品仕様

適用下地	コンクリート、モルタル
適用部位	コンクリート欠損部、モルタル欠損部等
適用化粧材	仕上塗材、陶磁器質タイル等

上表以外の適用につきましては、お問い合わせ下さい。

試験表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

(財)建材試験センター

項目 [単位]	試験結果	要求性能
単位容積質量 [kg/ℓ]	1.66	1.80以下
凝結時間 [分]	74	300以内
長さ変化	長さ変化率 [%]	0.15以下
接着強さ [N/mm ²]	材 齢 18 時間	0.8
	材 齢 7 日	2.5
曲げ強さ [N/mm ²]	材 齢 18 時間	2.6
	材 齢 7 日	6.4
	材 齢 28 日	8.5
圧縮強さ [N/mm ²]	材 齢 18 時間	8.9
	材 齢 7 日	22.5
	材 齢 28 日	26.9
吸水性	吸水率 [%]	2.9
耐久性(接着強さ) [N/mm ²] 温冷繰返し10サイクル後	2.3	1.0以上

試験方法:UR都市機構 保全工事共通仕様書使用登録集「速硬軽量モルタル(RL)」の品質基準



二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development

施工方法

1. 下地の準備

下地の脆弱層及び突起物、レイトランス、油分、硬化不良、汚れ等の部分は、ケレン棒又は、ワイヤーブラシ、サンダー掛け等で除去し、下地面の清掃または高圧洗浄を行って下さい。また、鉄筋が露出して発錆している場合はスクレーパー、ワイヤーブラシ、研磨紙等で錆を除去して下さい。

※浮き、剥離の原因となりますので、下地の清掃は入念に行ってください。

※鉄筋の発錆を伴う欠損部の場合には、水洗いをさせ、フロアー等を用いて清掃して下さい。

2. 下地の処理

乾燥後、ベンリーメンテペーストを刷毛等でむらなく塗布して下さい。

※下地への吸水が激しく刷毛塗り作業性が悪い場合は、ユニレックス3(原液)を水道水にて5倍に希釈したものを塗布して吸水調整を行ってください。

3. ベンリーRLモルタルの混練

専用混和液(1.5kg)と所定量の水(1.5~1.7ℓ)を容器に入れ、ベンリーRLモルタル粉体(15kg)を徐々に加えながらハンドミキサー等で十分に練り混ぜて下さい。

※強度低下の原因となりますので粉体と混和液及び水の調合割合は厳守して下さい。練置きは夏期15分以内、冬期25分以内とし、練足し、水を加えての練り直しは避けて下さい。

4. ベンリーRLモルタルの塗付け

ベンリーメンテペースト塗布後、ベンリーRLモルタルをジャンカ部や欠損部分にコテ圧をかけて充填して下さい。

※ベンリーメンテペースト塗布後、製品充填までの工程間隔は、夏期3時間以上、冬季6時間以上を目安として下さい。

※ダレ、割れの原因となりますので、1回の塗厚は標準仕様の塗厚を厳守して下さい。

※標準仕様の塗厚をこえる場合は、2回以上に分けて塗りつけて下さい。その際の工程間隔は2時間程度を目安として下さい。

※壁で深さ30mm以上あるいは0.1㎡以上、または上げ裏施工の場合は、ステンレスアンカーピン・ステンレス線を併用して下さい。

※速硬軽量タイプの欠損部補修材ですので、欠損部以外の施工は避けて下さい。

5. ベンリーメンテペーストの塗付け

ベンリーRLモルタルを施工後(5時間以上経過)、充填部と周辺の既存モルタル、既存コンクリートの境界面に幅150mm(目地振分け75mm)にわたってベンリーメンテペーストを刷毛で塗布して下さい。

※ひび割れの原因となりますので、標準仕様の塗厚を厳守して下さい。

6. 養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生を行ってください。また、施工後、降雨、降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生を行ってください。

※強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が厳しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生を行ってください。

※初期の雨掛り等は、強度不足・白華(エフロレッセンス)の原因となりますので、シート掛け等の養生を行ってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業を行ってください。

※仕上げ材の素地こしらえ等の次工程までの養生は、夏期1日以上、冬期2日以上として下さい。

注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。

1. 施工前に補修面を十分に水洗・清掃して下さい。
2. 材料の保存は、地面や床へ直置きしないようパレット等使用して湿気を避け、直接日光や雨が掛らないようシート掛けなどを施して下さい。
3. 降雨・降雪時の施工は行わないで下さい。
4. 気温3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、施工は行わないで下さい。
5. 固くなったモルタルへの再加水は行わないで下さい。
6. 固まったものの使用は避けて下さい。
7. ベンリーRLモルタルには混和液、練水の他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないで下さい。
8. ベンリーRLモルタル硬化前の雨水等による漏れは、白華(エフロレッセンス)の原因となりますので注意して下さい。
9. ベンリーRLモルタルの品質保持期間は製造後約3ヶ月です。

※ ベンリーRLモルタルを安全に正しくお使い頂く為、施工前には必ず袋の裏面の仕様・注意事項等をよくお読み下さい ※



ISO 14001取得企業

施工要領・SDS等は別途ご請求下さい

プレミックスモルタルの総合開発メーカー

二瀬窯業株式会社

<http://www.futaseyogyo.co.jp/>

本 社 ・ 工 場 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

関 東 工 場 千葉県木更津市新港15-8
〒292-0836 tel(0438)30-7372 fax(0438)30-7472

福 岡 営 業 所 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

東 京 営 業 所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル 2F
〒105-0014 tel(03)6453-6685 fax(03)6453-6686

名 古 屋 営 業 所 愛知県清須市西枇杷島町弁天45 ヤマモリビル 1F
〒452-0006 tel(052)509-2485 fax(052)509-2486

大 阪 営 業 所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル 2F
〒552-0002 tel(06)6583-3310 fax(06)6583-3325